

新潟市スポーツ推進委員連盟会報誌

スポ推 だより

第60号

— 特別号 —

令和8年3月
発行

永きにわたる歩みを力に、
未来へ拓くスポーツの輪。



P.2 会長ごあいさつ
新潟市スポーツ推進委員連盟
会長 速水 裕

P.3 表彰受賞者紹介
P.4 区自主研修会・事業の紹介
P.8 連盟自主研修会の報告

P.9 主催・協力事業の紹介
P.10 管外研修報告
P.12 あとがき

会長
ごあいさつ



未来へ拓く

新年度を迎えるにあたり、スポーツ推進委員の皆さまには、日頃より地域スポーツの振興にご尽力されておりますことに、心より感謝申し上げます。

また、本誌も、おかげさまで60号という節目を迎えることができました。これまで長きにわたり活動を支えて来られた歴代の委員の皆様にも深く敬意と感謝を表します。

令和7年度を振り返りますと、秋に開催された新潟シティマラソンでは、国内外から多くのランナーが新潟の地を訪れ、市民の声援に包まれながら街全体が一体となる光景が広がりました。

また、新潟市出身のフィギュアスケート選手、中井亜美選手がオリンピックで活躍されたことは、私たち市民に大きな夢と感動を与えてくれました。地域で育まれた努力が世界へと羽ばたく姿は、次の世代にとって大きな希望となっています。

こうした感動の積み重ねが、未来のスポーツ文化を形づくります。私たちスポーツ推進委員が、地域住民の皆さんと一体となり、一人ひとりの「やってみたい」を支えることで、新潟市のスポーツはさらに広がっていくはずです。これからも力を合わせ、明るい未来へつながる地域スポーツを育ててまいりましょう。

新潟市スポーツ推進委員連盟
会長 速水 裕

令和7年度 表彰受賞者 紹介

スポーツ推進委員文部科学大臣表彰

■ 氏田 啓一 [江南区]

全国スポーツ推進委員連合功労者表彰

■ 伊藤 正美 [南区]

北陸地区スポーツ推進委員協議会表彰

■ 宮原 清一郎 [中央区]

中ブロックスポーツ推進委員連絡協議会功労者表彰

■ 小林 敬子 [南区]

新潟県スポーツ推進委員協議会功労者表彰

■ 杉山 八重子 [北区]

■ 長場 代一 [北区]

■ 吉川 悟 [東区]

■ 栗川 和也 [中央区]

■ 小暮 節夫 [江南区]

■ 平野 太一 [江南区]

■ 柳沼 和美 [江南区]

■ 日浦 徹 [南区]

■ 小舟戸 伸也 [西区]

■ 瀧澤 麻子 [西区]

新潟市スポーツ推進委員連盟功労者表彰

■ 保田 武信 [東区]

新潟市「スポーツと音楽都市」宣言記念功労者表彰

■ 伊藤 正美 [南区]

■ 倉澤 布美子 [中央区]

■ 小武内 明浩 [南区]

新潟市スポーツ推進委員連盟功労者表彰を受賞して

新潟市スポーツ推進委員連盟功労賞をいただきありがとうございます。学校開放利用団体の代表として調整会議に出席するようになったことがきっかけで推進委員にお誘いをいただき、10年が経ちました。この間のさまざまな活動を通して、たくさんの人たちがスポーツを楽しむ姿を身近に感じ、いろいろな地域の推進委員の方々と交流し、新しいことをたくさん学ぶことができました。その中で、推進委員に求められる役割を考え、少しずつ実行することができたと思います。

スポーツは、身体の健康だけではなく、人と人をつなぎ、コミュニケーションを活発にすることで心の健康にも役立ちます。地域で継続してスポーツができる環境を整え、より多くの人にスポーツに触れる機会を提供し、誰でも一緒に楽しめる場を作っていくことが大切だと考えています。

これからも、健康第一に楽しみながら、地域の役に立てるよう活動を続けていきたいと思っています。

倉澤 布美子 [中央区]

区自主研修会・事業の紹介

北区

自主研修会

寄稿者：高木 由紀子

ペットボトルモルック 課題解決型「モルック」体験

開催日 令和7年7月12日(土) 会場 豊栄総合体育館

今年度の自主研修会は、「モルック」をテーマとしました。

モルックは屋外が基本の競技ですが、天候の問題を回避し、通年での活動を可能にするべく、屋内での実施方法を探りました。この課題をクリアするため、今回北区では、「ペットボトルモルック」の製作と実践に挑戦しました。

これは、ペットボトルに少量の水を入れて重さを調整し、スキttlとモルックに見立てるといったものです。

当日は、まず木製のモルックを体験した後、この手作りの道具を使用し、体験会を実施しました。

その結果は予想以上に本格的でした。水で重さを調整したペットボトルは、木製のスキttlと同じように、投げられたモルックが当たると見事に散らばり、木製と遜色なくゲームが成立しました。参加委員からは、「準備は簡単なのに、木製のモルックと変わらない面白さ」と、大きな手応えを得ることができました。

今回の試みは、スポーツ推進活動における発想の転換と工夫の重要性を教えてくださいました。この「ペットボトルモルック」が、皆さんの地域活動の一助となれば幸いです。



西蒲区

自主研修会

寄稿者：柏木 彰

ドッチビー

開催日 令和7年5月31日(土) 会場 湯東コミュニティセンター

西蒲区は、湯東地区の企画によるドッチビー研修会を行いました。ナイロン製のディスクを使用し、ルールはほぼドッジボールと同じで、ボールをfrisbeeに変えて競技を行います。

ボールと違い、なかなか思い通りのところに投げれず・取れずと…コツをつかむまで少々時間がかかりましたが、老若男女問わず楽しめるスポーツでした。一汗かいた後の懇親会では、委員が今後、更に地域と関わりをもって、スポーツ活動を推進していけるかななどの活発な意見交換ができました。

その中で出た、それぞれの思いを実現出来るよう、皆で協力し活動して行きたいと思っています。



ドッチビー専用ディスク

東区

イベント

寄稿者：山崎 芳則

東区冬季大運動会

開催日 令和7年2月2日(日) 会場 東総合スポーツセンター

東区で例年2月に開催している「東区冬季大運動会」の様をお伝えします。

開会式が終わりますと、まず最初の競技は、かわいい幼児さんとママやパパによる「うま〇棒レース」です。

——「位置について…！ よーい！ ピー！！」

やっと走れるようになった？ ような、小さな子どもたちが、ママやパパの顔をうかがいながら、視線の少し先に、揺れながらぶら下がっているお菓子めがけて走り出しました。みんな真剣で、一目散にダッシュします。各チームの得点には加算されないお楽しみレースですが、こんな感じで運動会がスタートします。

会場は、東総合スポーツセンターメインアリーナです。主催は、東区大運動会実行委員会(中地区、石山、木戸小学校区、牡丹山小学校区、大形、竹尾小学校区の各スポーツ振興会)で、共催として、東区スポーツ推進委員協議会と東区スポーツ協会がお手伝いをしています。イベント開催の趣旨は「東区の小学校に通学している児童とその家族が、一日楽しく運動する機会をつくり、冬場の運動不足解消と地域の活性化を図る」ことです。直近の令和7年2月2日(日)開催では、小学生、未就学児、保護者の参加者が366名、スポーツ推進委員やスポーツ振興会などのスタッフが56名で、合計422名でした。とてもにぎやかで楽しい行事で定着しています。

さて、その他の競技ですが、「障害物競走」「チーム対抗リレー 低学年&高学年」「綱引き」、そして特筆したいのは「アジャタ(=玉入れ)」です。スポーツ推進委員の方々はご存知と思いますが、かごに入れた玉の数を競う玉入れとは異なるルールの「アジャタ」は、当運動会では、参加してくれた保護者のための競技にしています。ルール説明をして「コツ」もレクチャーします。各チームの得点に加算されますので、子どもたちの応援にも熱が入ります。大逆転もありとても盛り上がります。

このイベントは、例年ともご好評いただいています。この日のために、前年の11月から準備を始めて2月の本番を迎えます。これからも、改善を加えながら継続して行きたいと思っています。



秋葉区

自主研修会

寄稿者：高野 豊

ニュースポーツ体験

開催日 令和7年11月22日(土) 会場 小須戸地区ふれあい会館

秋葉区では、ニュースポーツ体験会ということで、フロアカーリング、ポッチャ、モルック、ストラックアウトの4種目を行いました。参加者は、当日申し込み含め28名で、8組に分かれて30分で1種目、対戦相手を変えて4種目を回りました。スポーツ推進委員は、1人1種目を担当し、各種目は、ルールの説明を受けたのち、企画部長の合図で競技を開始します。

フロアカーリングは「フロッカー」を転がして、ターゲットストーンにどれだけ近づけるかを競います。また、ポッチャも同様に、カラーボールを投球し、目標球(ジャックボール)に最も近づけることを競います。お互いのフロッカー、ボールが近づくと、歓声が上がったり、拍手が起きたりと楽しくプレーしていただきました。ゲームが終わると、励まし合う光景が見えてよかったです。続いて、モルックは、室内用を使用しました。音は多少静かで迫力が劣ると思っていましたが、ゲームとなれば迫力満点でした。最後に、ストラックアウトでは、年齢に応じて投球位置を変え、繰り返し投げてもらいました。参加者の皆さんが上手で、ゲームを繰り返し行ったそうです。

今回の研修会は、全体的に初めての試みでしたが、うまくでき、今後につながると思います。



フロアカーリング



ポッチャ



モルック



ストラックアウト

区自主研修会・事業の紹介

江南区

自主研修会

寄稿者：花輪 幸司

ポッチャ

開催日 令和7年7月26日(土) **会場** 両川小学校体育館

江南区では、誰もが一緒に参加できて楽しむことができるユニバーサルスポーツの普及を目指した研修会を毎年企画しており、今年度はポッチャの研修会を実施しました。

今回の研修会は、令和8年度に江南区主管で連盟自主研修会を実施することを見据えた開催となり、講師を迎えてコートの設営方法に始まり、ルールから技術の指導までしていただきました。ポッチャはパラリンピックの正式種目でもあって、私もある程度は知っていましたし、何回か経験したこともありましたが、

しかし、今回の研修では、講師の方からポッチャの戦術やボールのコントロール技術の難しさを教えていただき、その戦術や技が決まった時の楽しさを体験させていただきました。

また、障がい者用の「ランプ」という桶状のスロープでボールを上から下へ転がす機材を使用してプレーする体験もさせていただき、誰でも「楽しめるスポーツ」であることを実感しました。

今回学んだことを生かし、来年度開催される連盟自主研修会で皆さんにも楽しさを伝えていきたいと思っております。



ポッチャランプ
(ボールを転がすためのスロープ状の補助具)



西区

自主研修会

寄稿者：佐野 恭子

モルック

開催日 令和7年6月28日(土) **会場** 西総合スポーツセンター

毎年恒例の研修会、今年度は、近年人気のスポーツ「モルック」を選択して実施しました。

会場は、天井から燦々と陽の光が降り注ぐ屋内ゲートボール場で、あわや熱中症という暑い日でしたが、半日大いに楽しみながら学ぶことができました。

モルックは北欧フィンランド発祥のアウトドアスポーツで、大自然のなかで楽しむダイナミックさがあります。モルックという20cmほどの木の棒を投げて、スキttlというピンを倒すと得点を得るゲームで、チームで対戦します。会場ではスキttlを倒すモルックの「スカーン！」「パカーン！」という音が、森の中でこだまするように響き渡っていました。とても簡単なルールで、肉体的な強さを必要とせず、運と技術の組み合わせで勝負が決まるのも、老若男女誰でも楽しめる要素ではないでしょうか。

大勢で楽しむ地域の大会はもちろん、バーベキューやビールを飲みながら気軽にプレイすることも可能なところが魅力です。

機会があったら、家族や友人とお楽しみください。



南区

イベント

寄稿者：横田 信恵

南区管外研修

南区スポーツ推進委員は11地区から人が集まり、活動をしています。1人ひとりのライフスタイルがあるなかで親睦を深めるため、年1回研修旅行を行っています。

今年度は初めて新幹線を利用して江ノ島・鎌倉へ行ってきました。1日目、「江ノ島岩屋」で自然の力と歴史を感じよう！と神秘的洞窟へ出発。江ノ島の海沿いに現れる迫力満点の洞窟は波の力だけでできたことを知り、自然の偉大さを感じる瞬間でした。更にその洞窟の中をロウソクを持って探検することができ、五感に響く体験ができました。

2日目、江ノ電に乗って鎌倉へ。「竹の寺」の報国寺に行き、境内に一步、足を踏み入れると、風が吹く度に竹がさざめく音が心地良く、竹林を眺めながら仲間たちと抹茶を飲み、心も体も癒されました。デジタル化が進む社会で、五感をフルに刺激する体験は貴重で、記憶に深く刻まれます。その時間を南区委員の皆さんと共有することで、仲が深まり、コミュニケーションも円滑になります。地域の活動にも反映され、イベント等をスムーズに運営することができています。南区スポ推のチームワークの強さは、歴代の先輩方が築き、継続してきたこのような研修旅行があるからだと思います。



各区スポーツ振興会事業紹介

- 北区**
 - パークゴルフ体験会
 - ぽかぽかヨガ
- 中央区**
 - 夕日ウォーク
 - アイスアリーナカーリング体験教室
- 秋葉区**
 - スリッパ卓球
 - ソフトボール大会
- 西区**
 - ソフトバレーボール大会
 - スポーツ鬼ごっこ大会
- 東区**
 - 小学生バレーボール大会
 - 親子スケート教室
- 江南区**
 - 江南区フロアカーリング親善交流会
～ストロベリーカップ～
 - 江南区健康ウォーク
～亀田郷の秋を感じながら～
- 南区**
 - 白根ハーフマラソン
 - フロアカーリング大会
- 西蒲区**
 - 地域対抗ニュースポーツ大会
 - ふれあいカップ
7人制ソフトバレーボール大会

上記のほかにも、様々な事業を実施しています！

連盟自主研修会の報告

中央区

連盟自主研修会

寄稿者：仲川尚志

実技

100年健康体操 ～ゆがみを直せば、カラダも心も変わる～

開催日 令和7年6月7日(土) 会場 鳥屋野総合体育館 講師 半田 史 委員 (中央区スポーツ推進委員)

研修会前は、あちらこちらで「最近運動不足なんだよね～」「体が硬いからな～」など少し不安な声も聞かれましたが、始まると、明るくユーモア溢れる半田講師と和やかな雰囲気のおかげで皆さんすぐにリラックスされたようでした。

ストレッチ用のゴムバンドを使うところでは、普段は伸ばしにくい筋肉にも無理なくアプローチでき、体を動かす気持ちよさを改めて実感されたようでした。特に、腰や肩、背中まわりのストレッチでは、ゴムの程よい負荷がかかり、終わったあとは血行が良くなったとの声も聞かれました。

体を動かすことで気持ちも前向きになり、ストレス解消にも繋がるのではないかと感じました。参加者同士で声を掛け合ったり、笑い合ったりする中で、心もリフレッシュすることができたのではないのでしょうか。

今回の研修会を通して、運動は年齢や体力に関係なく、自分に合ったやり方で無理なく続けることが大切だと学びました。今後もこのような機会があれば積極的に参加し、健康づくりに取り組んでいきたいと思えます。

参加者アンケートを見る限り、ほとんどの方が満足された研修会となったようです。主催の中央区スポーツ推進委員の皆さま大変お疲れ様でした！



主催・協力事業の紹介

主催事業

寄稿者：杉本 尚 [江南区]

第37回新潟市民綱引き大会

開催日 令和8年2月22日(日)
会場 新潟市鳥屋野総合体育館
参加者 78チーム 811名 運営スタッフ(スポーツ推進委員) 83名

誰もが気軽にできる綱引きを冬季間のスポーツとして普及するとともに、地域スポーツの振興と住民相互の親睦を図ることを目的として、小学生の部・一般の部で開催。

試合が始まると「いっけー！」「こらえろー！」「もう少しだー！」「やったー！」「よく頑張ったー！」「次も勝つぞー！」と応援の声が体育館に響き渡ります。

大会は「小学生低・中学年の部」「小学生高学年の部」「一般男女混成の部」に分かれて熱戦が繰り広げられました。優勝された3チームは「力のバランスを考えた7人の並び方、フォームと体の使い方」が素晴らしかったです。

私は綱引きレーンや応援ゾーン設営等の会場準備と、「選手係」として選手の誘導をさせていただきました。その際には、参加選手のケガ防止のために、腕時計、スマホ等をお預かりすることにより、選手の安全確保に努める等試合進行のお手伝いをさせていただきました。今大会も皆様のご協力のもと、事故もなく、多くの方々の元気な笑顔を見ることができ、良き一日を過ごさせていただきました。



協力事業

(新潟市主催)

寄稿者：清水 宏之 [西区]

第41回新潟シティマラソン2025

開催日 令和7年10月12日(日)
会場 デンカビッグスワンスタジアム～新潟市陸上競技場ほか
参加者 13,016名 スポーツ推進委員協力 156名

今年度も、ゲストランナーに高橋尚子さん(シドニー五輪マラソン金メダリスト)をお迎えし、国内外から定員を上回る多くのランナーが参加し、みなとまち新潟を駆け抜けました。

マラソン、ファンラン、ユニバーサルランの3種目からなる新潟シティマラソンは、国内47都道府県・海外から集まった、未就学児から80歳超えのランナー13,016人が力走しました。早朝のスタート会場手荷物預かり、そしてゴール会場および沿道でのボランティア従事、お疲れ様でした。

スタート直後はあいにくの雨も、徐々に回復しマラソン日和となりましたが、天候と気温の変化で、担当する第8エイドでは足が攣るランナーが続出しました。機転を効かせたボランティアさんが、ランナーの名前を添えてのファイトエールを送ったところ、その「ありがとう」の返しがとても嬉しく感じました。

“身体”に給水やフード、“心”にエールを、来年も沿道ボランティアとして、ゴールを目指すための補給をランナーへ届けたいと思えます。



ボランティアにあたるスポーツ推進委員



楽しむランナーの様子

リジェネレーションの視点で考える スポーツ推進委員の新たな役割

新年研修会

寄稿者：浅野 哲司

講演

開催日 令和8年1月18日(日) 会場 ホテルオークラ新潟 コンチネンタル

新潟大学人文社会科学系
工学部・教育学部
講師 村山 敏夫 准教授

「スポーツは楽しいだけではなく、社会を変える力がある。」講演会の冒頭で、村山敏夫准教授はそう語られました。「どうすれば社会を変えられるのだろうか」。私はそんな疑問を抱きながら講演を拝聴しました。

先生のお話で特に印象に残ったのは、スポーツイベントを主催する者には、単なるサステナブル(現状維持)ではなく、リジェネラティブ(再生)の発想が求められているという点です。そのためには、主催者や参加者一人一人が自身の感覚や価値観をアップデートし、「自分にできることは何か」「自分の能力をどこで発揮できるか」を考えることが重要であると話されていました。

参加者が受け身ではなく作り手として関わることで、スポーツは地域や社会をより良い方向へ動かしていく力を持つと感じました。私自身、小学校区や南区でフロアカーリングを中心としたイベントの企画・運営に携わっていますが、これまでの活動に「現状維持でよい」という考えがなかったか、改めて見直す必要性を感じました。今後はリジェネラティブの発想を意識し、より地域に根ざした活動を目指していきたいと強く感じる事ができました。



研修会

寄稿者：小林 忍
[秋葉区]

令和7年度北陸地区スポーツ推進委員研修会

心豊かなスポーツライフ・ウェルビーイングの向上を目指して

開催日 令和7年6月28日(土)～29日(日) 会場 富山県新川文化ホール

講演 佐伯 克美 氏

——「今日と同じ明日を！」



子どもは、1日1日成長し、伸びて当たり前。若い人にとっては、今日より明日はいいに決まっている。しかし、歳をとると今日と明日は同じだろうか。今日と同じどころか、明日はさらに落ちていくのではないだろうか。1日…1年、衰えていくからと言って下を向いていても仕方が無い。明日のことは明日になってみないと分からない。ちょっと上を向いて、ちょっと努力して、今できることをしよう。歳をとったからと言って世の中に遠慮することはない。どんなことがあっても、悪いことでも受け止めて、少し上を向いてプラス思考で明るく過ごす。私は、クロスカントリーの教室やガイドをして、「ありがとう」と言ってもらうことがやりがい。自分が楽しい、周りのみんなも笑顔、そうなることで免疫力が上がる。

そして、いくつになっても小さい目標を前に置こう。



ユニホックはプラスチック製の柔らかいスティックと同じくプラスチック製でスピードの出にくいボールを使用し、安全性を高めたミニホッケーの一種で、体育館で出来るスポーツです。研修では3コートに数チームずつに分かれ、リーグ戦を行いました。

試合は両チーム6人で、ゴールキーパーを置かず、前後半4分で皆さん必死になってボールを追いかけていました。膝より上にスティックを上げる事は反則ですが、振り切って上げてしまう人やゴール前1.5mの入り相手にはいけない半円に入り相手にペナルティーショットを与えるチームも多かったです。

道具を揃えるだけではなく、コートを囲むフェンスも用意しなくてはならないため、自分たちの所で普及するのは難しいかなと感じましたが、今回の実技研修では、楽しく活動できました。

研修会

寄稿者：高橋 一栄
[西蒲区]

令和7年度第66回全国スポーツ推進委員研究協議会 長野大会

開催日 令和7年11月13日(木)～14日(金)

会場 長野県長野市

基調講演では、パリオリンピック柔道女子57kg級金メダリスト出口クリスタ選手より、柔道を通じて挑戦し続けてきた歩みと、金メダルに至るまでの考え方や決断についてお話いただきました。階級変更や新たな技への挑戦、スランプを成長の機会と捉え、「腹をくぐること」「次の挑戦に目を向けること」という前向きな思考が、金メダル獲得につながったということ等を語っていただきました。誰もが計画を立て、その道を信じて進めば目標に近づけるという希望を持てる内容でした。スポーツ推進委員の私たちにとっては、日頃スポーツに縁のない人達へ、いかにしてスポーツの楽しさを伝えるか、またスポーツによる健康増進・維持への寄与を目指している中で、大変貴重な講演でした。私たちは、ソフトバレーボールを中心に毎週スポーツ教室を開催しています。親子でも楽しめるよう工夫し、子どもたちには「投げる・キャッチする・走る・跳ぶ」など運動の基本を遊びの中で体験させています。今後、オリンピックを目指す志を持った人との出会いがあれば、本講演でのお話を紹介し、スポーツ教室に生かしていきたいと思ひます。



開会式の様子



全国から約3,300人の参加者
出典：(公社)全国スポーツ推進委員連合機関誌「みんなのスポーツ」



本大会は国スポ・全障スポ開催予定地を回り開催

研修会

寄稿者：高橋 丸子
[北区]

令和7年度第64回新潟県スポーツ推進委員大会

「スポーツは楽しい！って伝えなきゃ！～スポーツの魅力をもっと発信しよう～」

開催日 令和7年9月6日(土)～7日(日)

1日目 開会式・表彰式・講演・情報交換会

会場 道の駅クロスステン十日町

参加者 230名(新潟市28名)

演題 「運動に対するモチベーションの作り方
～人はどうしたら運動するのか?～」

(株)スポーツモチベーション最高技術責任者
(一社)フィジカルトレーナー協会代表理事
PTI認定プロフェッショナルフィジカルトレーナー
米国スポーツ医学会認定運動生理学士

中野 ジェームズ 修一 氏



2日目 スマイルボウリング、モルック

会場 十日町市総合体育館

内容 スマイルボウリング、モルック

※新潟市以外はキンボール、ノルディックウォーキング、グラウンドゴルフ、ネオホッケーの実技研修を行う

参加者 160名

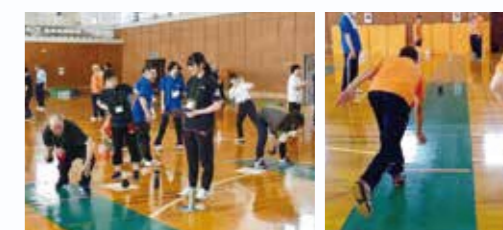
(スマイルボウリング、モルック)

1日目の講演では、モチベーションは「～したい」という願望や欲求の「動因」と具体的な方法や手段の「誘因」の組み合わせが不可欠であるということをお話しました。報酬目的ではなく、行動そのものを「楽しい」と感じる内発的動機づけへ転換させることが鍵となり、そのためには、指導者自身が楽しむ姿を見せること(ソーヤー効果)や、相手の関心段階に合わせた働きかけをすることが重要です。また、痛みは、脳の記憶が大きく影響し、周囲が「大丈夫?」と頻りに聞くことは、逆効果であるというお話がとても印象深かったです。対象者の心に寄り添い、自発的な行動を促す支援の重要性を学びました。

2日目の実技研修は、「スマイルボウリング」に参加しました。ボウリングをアレンジした形式のスポーツで、投球位置からゲートを通り、10本のピンをできるだけ少ない投球で倒すことを競います。十日町市松代地区では、30年前より盛んに行なわれていたそうです。技術の差が目立ちにくいように工夫されているようで、幅広い年齢層が参加でき、笑顔で楽しめる競技であると感じました。



(実技研修)モルック



(実技研修)スマイルボウリング

～スポーツ推進委員とは?～

スポーツ基本法に基づき、市長が委嘱する非常勤の公務員(任期2年)です。

地域におけるスポーツ振興や、市民の健康づくりの推進を目的として、各種スポーツイベントや大会の運営・協力をはじめ、学校や地域スポーツ団体等との連絡調整を図るコーディネーターとしての役割も担っています。

新潟市スポーツ推進委員連盟の組織体制



区協議会								【8区(103校区)246人】	令和8年1月現在
北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区		
11校区	9校区	18校区	10校区	12校区	11校区	19校区	13校区		
22人	17人	35人	27人	30人	35人	45人	35人		

区協議会事務局

北区役所 産業振興課	東区役所 地域課	中央区役所 地域課	江南区役所 産業振興課	秋葉区役所 地域総務課	南区役所 地域総務課	西区役所 地域課	西蒲区役所 地域総務課
---------------	-------------	--------------	----------------	----------------	---------------	-------------	----------------

あとがき

令和7年度は「お米」にスポットライトが当たった年でした。

体を動かすエネルギー源である炭水化物をはじめ、筋肉やホルモンのもととなるたんぱく質やビタミン・ミネラルが含まれている「お米」。日本を代表するお米の生産地である私たち新潟県人も改めて「お米」について考えさせられた1年でした。

この「スポーツ推進委員だより」はそのような環境にある皆様の1年間の活動をお知らせして振り返り、今後の取り組みにつなげるツールの一つであると考えています。今年度はスポーツ推進委員の皆様だけでなく、広く新潟市民に対してスポーツ推進委員の活動をお知らせするために「スポーツ推進委員だより」をブラッシュアップしてきました。カラー版でイラストや写真を多く取り入れ、広報活動的な紙面とさせていただきます。

令和8年度も私達スポーツ推進委員は、様々な人の意見を聞き、縁の下の力持ちとして地域スポーツの振興に携わり、楽しみながら体を動かしていきたいと思えます。あわせて、スポーツ推進委員の活動を周りの方々にもお知らせして、仲間として一緒に活動していただける方を増やしていきましょう。

末筆ではありますが、この号の発行にあたりまして多くの皆様からご寄稿、ご協力をいただきました。

厚く御礼申し上げます。

総務委員一同